

事業位置
渋川市

事業継続中

事業概要

- 箇所名: 渋川市祖母島
- 路線名: 上信自動車道 祖母島～箱島バイパス
(国道353号バイパス)
- 事業内容: 延長約2km 幅10.5m
- 総事業費: 約30億円
- 事業期間: 平成19年度～
- 現在の交通量: 14,214台/日(国道353号)
- 予測交通量: 約10,800台/日(祖母島バイパス)

どのような課題を解決するために実施する事業か

東京圏や他地域との移動時間を短縮するために

バイパス道路
をつくれます

渋川・吾妻地域の観光振興、安心・安全の向上のために

地元の声

- ・吾妻との連携や交流促進という面で、上信自動車道の計画に期待している。
- ・前橋・高崎方面に行くには渋滞等で時間がかかるため、早く上信道を整備してほしい。

事業位置図



「群馬がはばたくための7つの交通軸構想」の「吾妻軸」の主軸として、
観光振興、安心・安全の向上を図ります。

事業前

- ◆カーブの連続のため、走行性が悪く、また冬は凍結等により速度が落ちてしまいます。
- ◆国道353号で災害による通行止めがたびたび発生しています。

県道渋川東吾妻線冬期状況



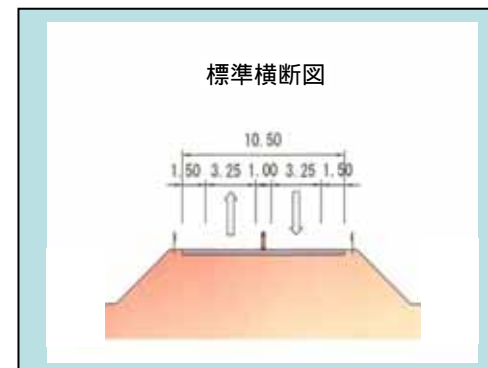
国道353号斜面崩落

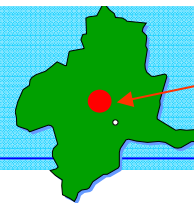


事業後

- ◆おおむね60km/hでの走行ができるようになり、移動時間が短縮されます。
- ◆災害時の緊急路、代替路が確保され、地域の安心・安全が向上します。

標準横断面図





事業位置
渋川市

事業継続中
進捗状況調査

平成22年度 着工前



渋川東吾妻線



国道353号斜面崩落

いまどんな工事をしているか

平成21年度は現地測量・各種調査・道路予備設計を実施しました。
平成22年度は各種調査・道路詳細設計を行います。
その後、用地買収に着手します。



事業のすすみ具合

